

令和4年5月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せ、飲食業・旅館業や商店街など売上げが増加し、明るい兆しが見えてきた業種がある一方、製造業、非製造業を問わず、多くの業種において、原材料費や燃料費の高騰が続き収益を圧迫していることから、5月期の景況DI値に改善は見られなかった。

ロシアのウクライナ侵攻が終結する様子はなく、今後、原材料費や燃料費のさらなる高騰が見込まれるが、製品・商品への価格転嫁は容易ではなく、収益環境は厳しい状況が続くと懸念する声が高まっている。

山口県の主要指標 DI 値（令和4年5月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：40.0% DI値：▲33.7% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、増加：23.8% 減少：33.8% DI値：▲10.0% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：13.8% 悪化：33.8% DI値：▲20.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（令和4年5月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲62.5	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲33.3	0.0	0.0	▲34.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲20.0	▲50.0	▲40.0	0.0	▲54.5	▲28.6	▲100.0	▲33.3
							

全 体
▲33.7


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	原材料やその他の資材の値上げにより厳しい状況。	調味料製造業
	菓子製造業に特化したインボイス制度の講習会を希望する声が多い。（柳井地区ではすでに実施している。）ゴールデンウィークの土産菓子は昨年より売上が増加したもののコロナ禍前には戻っていない。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	4月より全製品を7～10%値上げした関係で売上が増加したが、材料で再度値上げの申し入れがあり、再度値上げの必要が生じる可能性がある。	パン・菓子製造業 下関市
	人手不足が一段と深刻になっており、人材募集しても集まらない。原魚の価格高騰が続いている。冷凍庫の電気代上昇、配送費、燃料費の上昇。水産資源の悪化。	水産食料品製造業 長門市
	令和4年の冬に向けて外国人技能実習生受入の準備が始まっているが、実習生の入国が遅れると生産量にも関わってくると思われる。	水産食料品製造業 下関市
	コロナウイルス蔓延防止対策が緩和され、観光地の土日の人出が増加。GWはイベントも若干、息を吹き返し人流も多くみられ、10%程度売上也増加した。しかし原料・資材の高騰は多方面に見られ、今後の利益確保が必須である。ウクライナ情勢による原油高・資源の確保等先行きが不透明で、さらに為替高が気になる。	
	5月は、コロナも感染状況も落ち着きをみせ、飲食店等も通常営業となってきたが、原油価格の大幅な上昇に伴う、各種コストの増加傾向により、製造原価が上昇し、事業活動が更に苦しい状況となっている。ロシアがウクライナに侵攻し、3ヶ月が経過したが、全く終息する気配も無く、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。また、ウクライナは世界有数の穀倉地帯でもあるので、食料不足に伴う穀物価格の上昇も懸念されている。	精穀・製粉業
繊維工業	コロナ禍で海外へ行けず、オンラインで外国人技能実習生の面接を行っている。	下着類製造業
	受注状況は好調である。	製材業・木製品製造業 岩国市

木材・木製品	<p>建築・木材業界全体が低迷しており、当地域の工務店は四苦八苦している模様。この度のウクライナ紛争でロシア材が入荷困難となれば赤松材の不足で関連商品の高騰品薄は確実である。組合としての活動は皆無である。値上り前に材料を押さえておきたい建築業者が数社ある。</p>	製材業・木製品製造業 山口市
	<p>当組合のコロナによる影響が出始めた時期は、令和2年4月以降である。組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年5月に比べ25%の減少、コロナ禍の令和3年5月と比べ20%の増加だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。コロナ禍以降、雇用を長期間維持されていたが、5月は減少となる組合員もある模様。外材の仕入価格が段々と上がりつつあるが、国産材丸太価格は概ね落ち着いた状況。新電力の撤退で最終保障契約の場合、これまでの電気代の約6割増し等もあり、軽油、ガソリン等の高騰による影響で製品への転嫁をせざるを得ない状況。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>最悪だった令和3年と比べると受注も増え、令和2年と同等まで戻ってきた。しかしコロナ禍で完全に消滅した案件もあり、新規の受注を見つけるのが難しい。</p>	印刷 山口市
	<p>With コロナの概念が定着しつつあり経済活動は再開の動きをみせてはいるものの、長期化するロシア・ウクライナ情勢に伴い、様々な物品の値上げが相次ぎ、国民の生活を圧迫する状況となっている。印刷業界においても、紙をはじめ、刷版やインキの値上げが相次ぎ、企業収益を直撃している状況は深刻である。今秋には紙の更なる値上げの噂もあり、そうなれば昨年より3割以上の値上げという事態となる。印刷業界だけでなくすべての業界において値上げの波は押し寄せているが、価格転嫁により収益を確保することが各企業にとって最優先課題であり、収益環境はしばらく厳しい状況が続くと予想される。</p>	印刷 下関市
窯業・土石製品	<p>7月以降の鋼材値が、更に20%程度上がるとの事前情報がある。お客様への値上案内に苦慮している状況が続いている。</p>	コンクリート製品 製造業
	<p>出荷量は、前月比90%、前年同月比94%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定しているが値上げの動きがある。</p>	生コンクリート 製造業
	<p>コロナの終息も先が見えない中だが移動制限が緩和され、数年前より墓石の撤去依頼をされていた東</p>	石工品製造業

	京のお客様の作業の目途がたった。	
	原材料費（釉薬・土）の値上げにより、卸価格の値上げに踏み切る窯元もある。それに伴い売値が一部の商品で値上げとなった。ゴールデンウィークは市内全域で萩焼まつりが行われ、小売売上は前年比120～200%となった。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	例年同様5月は周南コンビナートの定修工事期間となり、当組合員は、繁忙期に入る。繁忙期の今月に、新型コロナウイルス感染で仕事に出ない人が多く、困っていた企業が数社あった。	一般機械器具製造業 下松市
	年初から最近まで手一杯の操業度だが、8月以降は予測ができない状況。オイルの高騰や、シェールガス革命が再来するとこの流れが変わるかもしれない。米国・中近東・中国・ロシアに注目している。原材料、資材の仕入れ価格の高騰が利益を圧迫すると懸念される。自動車産業の部品調達の遅れによる生産ラインの停止、減産が経営に大きく影響しそうで、新規見積り件数の減少で先行きの不透明さが増している。新年度が始まっているが、公共工事の発注が遅く、それを待つ企業からの発注が遅れている。九州の半導体工場の新設の関係工事等が当面続く模様で、今後当組合員への見積・発注は増加すると見込まれる。材料費は高騰のままであろうが、電気関連の品物の納期が未定で、機械の試運転や納期の確定が出来ない等の影響が出ると思われる。先月と同様に人員不足で、公募に人が集まらない。景況は好転しているが、人手不足でコロナ前の操業度まで戻らない。業界全体の動きが低迷している為、先行きが不透明である。	一般機械器具製造業 防府市
	新型コロナウイルス蔓延による企業業績への直接的影響はなく、中国のコロナ対策及びウクライナ情勢の影響も現段階では経済活動に大きな影響は認められない。3月から外国人の入国が出来るようになり、外国人技能実習生、特定技能も順調に受入れが出来ており、企業も一安心といった状況で、更なる増員を希望するところが多い。なお、中国はロックダウンの影響で新規の受け入れ業務が滞っており、ベトナム等への振替が進んでいる。送り出し国では新規募集が集中しており、都会の高賃金に対抗できず募集しても外国人技能実習生が集まらない状況である。	一般機械器具製造業 宇部市

	原材料価格が高騰する中、利益確保が難しくなっている厳しい状況に変わりはない。	
輸送機器	鉄道車両生産の国内業者の今年度受注は確保の見通しで、現状は順調に推移しているが、再来年度以降の新車両計画は大幅に減少の見通しで、それに伴い受注高も減少が見込まれる。半導体は例年の2～3倍の受注量で引き続き好調。工場新設の計画もあり、順調に推移する見通し。原材料や燃料費の高騰が相次いでいるが、価格転嫁がすぐには厳しい。溶接用のガスにおいては入手困難な種類も散見される。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	入在庫状況は順調に推移している。売上は対前年比10%以上増加した。コロナの影響はない。増加の理由はカキ入在庫の大幅増加と新製品の氷の取扱いによるもので、コロナ前と比べても増加している。	乾物卸売業
	円安の影響を受けている事業所が多く見受けられる。	各種商品卸売業 防府市
	取引先の営業も少しずつ元に戻りつつあり、売上も増加。	各種商品卸売業 山口市
小売業	コロナ前の生活に戻りつつあるが売上状況は対前年比、対前月比ともにあまり変わっていない。全国的にはこのタイミングで改装等を行っているようだが、山口県の傾向は、お客との接点拡大と関係性を深めるところに力を入れた店作りに重点を置いている。また、専門店の「利便性」である肌に合う化粧品の選択、ライフスタイルに合わせての提案等、With コロナの店舗作りをしている。化粧品専門店で購入している消費者にとっての利便性は何かをしっかりと把握することが重要であり、コロナ後はいろいろな要素を考慮しないといけないと感じている。	化粧品小売業
	エアコン等の販売に期待しているが、上海のロックダウンの影響で商品の不足状態が続いており、納品が注文後2週間かかるため、前倒しで注文をする等できるだけ在庫を確保するようにしている。	機械器具小売業
	前年同月比約 85.2%の売上で 14.8%の売上減少となった。内訳は駐車場売上(現金)は前年比増加となったが、ホール売上が大幅減少となり、前年比で売上減少となった。	各種商品小売業 周南市
	4月売上は対前年比 30.4%の大幅増加。コロナの影響が軽減したことにより山口県内客が大幅に増加した。5月は5/24時点で対前年比 47%増加と好調に推移。GW期間が天候に恵まれ大量集客となったことや、県民割、萩市のお買い物クーポン券の取	各種商品小売業 萩市

	り扱いが増えたことが要因。店舗パート従業員の高齢化による退職があったが、応募はほとんど無く人員補充に苦慮している。	
	5月の供給高の前年比は 95.5% 来店者数 97.3% と低迷。原因はよく分からない。	各種商品小売業 下関市
商店街	連休を終えて飲食店の回復は見られるが、まだ平日は少なく回復度は7割程度。夜間の飲食業界は依然として不振。物販、サービスの小売業界は一向に好転しない。前月比では売上増加、在庫減少だが、僅かな変動があったのみで、回復度は飲食業界よりかなり悪い。これはコロナを経て購買意欲、消費者の消費行動が大きく変化したためと考えられる。アパレル、雑貨の業界では、テーラードスーツなど利益率の悪い重衣料品が激減、国内業界は再編によって廃業、倒産、吸収合併などが慌ただしい。	岩国市
	新庁舎が稼働し始め、また建設中の建物や計画等により、景観的には明るい兆しが見えるが、コロナ感染者が未だ減少せず若年者の感染も多いため、夏のイベントの開催が難しい。今しばらくの辛抱か。	宇部市
	コロナ制限解除により商店街の人出も多少増加し、売上も上向き傾向だが、正常には戻っておらず、数パーセント程度の増加。「政府によるマスク緩和が、行動の緩和に繋がってくればよい」と店主は話している。	萩市
	GWによる商店街の来街者数はそれほど増えておらず、まだまだコロナの影響があると感じている。6月に「維新・海峡ウォーク」が開催されるので、商店街への来街者増加に期待している。	下関市
サービス業	コロナ感染者数が高止まりしているが、業界の数字は例年通り。	美容業
	ゴールデンウィーク後のコロナ感染者の増加で、来店サイクルが長くなり、売上が減少傾向にある。	理容業
	梅雨時期が近づいており、特にこの時期の豪雨は年々被害規模が大きくなっている状況が伺え、各整備工場におけるBCP（災害時の事業継続計画）の策定が急務となってきている。コロナ禍における自動車整備業界は、国の緊急事態宣言を受けて休業要請を行わない業種に認定されており、国民生活を維持する上で必要不可欠な重要なものと認識された経緯がある。このことから、災害が発生した場合に整備工場が長期休業すると、災害地域の車の整備や車検が受けられなくなる事態が発生し、市民生活に	自動車整備業

	支障をきたす恐れがあることから、BCPに対応した保険等の加入を含め早急な対応を行うよう呼びかけている。	
	新規入会や問い合わせ等、少しずつ動きが出てきた。	スポーツ・健康教授業
	5月も事業者により明暗が分かれたが、コロナ前より売上が落ち込んでいる事業者が多数である。加えて、石油関連の原料費の高騰により収益が悪化している事業者も多い。値上に踏み切る事業者もいるが、さらなる売上ダウン、クリーニング離れが懸念される。	普通洗濯業
	少しずつ、飲みに出られるようになったような感触がある。下関で、料飲組合の全国大会があり、皆明るい兆しを感じている様子であった。6月には20名以上の団体予約も入り、油断はしていないが、ようやく長いトンネルの出口が見えた気がする。	飲食業
	前年同月比10倍以上のJRの売上だが、昨年5月が悪すぎて比較にならない。	旅行業
	新型コロナウイルス感染対策規制が緩和され、県民割および福岡県を含む隣県割の利用者拡大により前年を大きく上回った。しかしながらコロナ前の令和元年5月と比較すると売上は86.7%、宿泊人員は101.6%となり宿泊人員は回復したが、宴会需要が回復途中のため依然厳しい状況である。	旅館業 山口市
	売上高は前年比25%の増加。次第に平常の環境に戻りつつある。コロナ対策の緩和が影響したと思われる。入浴者数は10%の増加。	旅館業 長門市
	宿泊客数も増加し、客単価も上昇している。ツアー客や団体客はまだだが、個人客、ビジネス客は確実に増えている。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請110件(当支部79件)、前年同月111件(同91件)。太陽光発電への申請23件(前年15件)、オール電化申請48件(前年65件)。LED街路灯への切り替え・新設申請13件(前年25件)であった。	電気工事業
	全般的には工事量は減っているが、現在施工中の工事量及び手持工事量が回復している事業所もある。業界規模が縮小しており、技能者の減少や完成工事高が減少している事業所が多い。	左官業
	5月の入札案件は無かった。年度間の入札予定が発表されていたが、令和3年度よりも入札件数が少ない模様。新規参入もあり増々競争が激しくなり、落札が厳しくなると予想される。新型コロナウイルスの影響は今のところ無い。	管工事業

	<p>コロナの収束も見えず、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が続き、国際的な政治不安が増大している。国内ではコロナ対策の一環でテレワークが続いているが、実施できる業界は限られており、テレワークに馴染まないエッセンシャルワークなどの業種や、土木建設業界においては、感染防止に努めつつ業務の遂行にあたる必要があり、それに費やす時間や経費など、事業遂行へのマイナス要因がある。加えて、昨年秋からの急激な円安は、景気の下降が懸念される。</p>	<p>一般土木工事業 柳井市</p>
	<p>5月の受注高は、対前年同月比 6.2%。令和4年度の累計では、対前年比 59.3%。</p>	<p>一般土木工事業 萩市</p>
	<p>令和4年度の第1四半期（令和4年4月～6月）の受注高は、まだ確定していないが、4月、5月を見ても公共事業の発注高が例年の約3割であり、長門地区の公共事業の発注率が例年に比べ非常に低い。6月を注視する。軽油等の値上がりが収益に影響している。</p>	<p>一般土木工事業 長門市</p>
	<p>原材料、製品仕入れ価格の再値上げが続いているため、見積もりがしにくい状況にある。国交省の「住宅・建築物安全ストック形成事業」において、助成制度の制定のため、各自治体に請願活動を展開する予定。これにより既築住宅の改修工事の増加につなげたい。</p>	<p>屋根工事業</p>
	<p>地域差があり、仕事を確保しているところと無いところの差が激しい。公共工事予定の有無等もあるが、特に下関・長門地域が少ない。鋼材・塗料・消耗品など材料すべてが値上げしているため、予算オーバーで工事を見合わせ物件がある。今後も値上げが続くと思われるため、大きな懸念材料になっている。工期が先の工事を受注しても材料価格上昇・材料手配難の関係で先行発注するなど先行投資が多くなっている。</p>	<p>鉄骨・鉄筋工事業</p>
運輸業	<p>輸送関係は、大型連休と新型コロナウイルスの影響による稼働日数の減少により、輸出、国内輸送共に約40%の売上減少。燃料費関係では3.2円の値上げ。ウクライナ情勢は、中小零細の運輸業にとって最大の危機にある現況。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>依然として部品調達難が続いており、自動車関連については引き続き厳しい状況。組合の輸送取扱高は前年並みだが、これは昨年同時期においてもコロナ不況の真只中であつたためである。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>

	<p>輸送に関しては、増えもせず減りもせず横ばいといった状況である。倉庫保管案件も安定している。生活用品等の小売関係の荷動きが、若干ではあるが減少している様子も見受けられる。原油高騰、その他物価上昇による運賃の値上げに関しては、比較的受け入れられている。人員確保は相変わらず苦難している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+20.3%（令和4年4月1日～令和4年5月20日分）だった。4月1日～30日分は+18.2%、5月1日～20日分は+24.9%。コロナ感染が収束しているようには思えないが、長引く行動制限に耐えられなくなったためという意見もあるようだ。前々年はもっと感染の影響が大きかったので、前々年度比では、それぞれ+57.1%、+62.2%、+47.2%になる。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。4月分については、周南+14.8%、下松+31.3%、光+29.2%、防府市地区は+10.4%で、組合員の全域では+18.5%、地区外（員外）+16.4%、合計+18.2%(+1,917千円)だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPは減少したが（前月940\$/トンが今月910.0\$/トン、前年502.5\$/トン）、フレート（輸送）コストが上昇（前月8,400円/トンが今月9,400円/トン）した。為替も円安（前月119.53円/\$が126.98円/\$）。燃料単価は前月より+1.9%上がった。前年5月比+49.3%であり、燃料費高騰に対する補助金があるようだが、たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。需要は回復しつつあるが、コロナ感染発生は続いており、夜間の飲食業関連はまだ時間がかかるように思われる。加えて、ウクライナ問題によるインフレ不況への懸念もあり、コロナ前の状況に戻るには、期間がかかりそうに思われる。</p>	<p>一般乗用旅客 自動車運送業</p>
	<p>前年度が6月迄若干増加していた影響で、5月は対前年比で減少。今後は、燃料費以外の仕入価格の上昇による収益の圧迫が懸念される。</p>	<p>港湾運送業 山陽小野田市</p>
<p>その他</p>	<p>介護業界の人員も新型コロナウイルス蔓延の影響か、国内の人材で補えつつある模様。文化、風習、言語、様々な違いがある外国人技能実習生よりも国内の人材を雇用する傾向が強いのではないか。反面、連休後より県内でも新型コロナウイルスに感染する人が増えており、介護業界においても急な人員</p>	<p>介護事業</p>

	<p>の確保は難しい状況。まだまだ、感染者は増えることも考慮しつつ、各施設、事業所は人員確保に苦勞しそうである。</p>	
--	--	--